

第1回木曽山崎団地地区 まちづくりワークショップ (資料案)

2024.8.18 (日)

町田市 都市づくり部

都市政策課モノレールまちづくり推進室

本日のスケジュール 10:00～12:00 (2時間)

- ・ ～10:00
- ・ 10:00～10:20 (15分)
- ・ 10:15～11:30 (75分)
- ・ ・ ・ 受付、グループ分け・着席
- ・ ・ ・ 挨拶、概要説明 (スライド説明)
- ・ ・ ・ グループワーク 1
 - ・ 自己紹介
 - ・ いまの木曽山崎団地地区を語ろう！
- ・ ・ ・ グループワーク 2
 - ・ 将来の木曽山崎団地地区をイメージしてみよう
- ・ 11:30～11:55 (25分)
- ・ 11:55～12:00 (5分)
- ・ ・ ・ 発表5分×4グループ
- ・ ・ ・ 挨拶、解散

※適宜、休憩を取っていただいても結構です。

まちづくりワークショップの目的

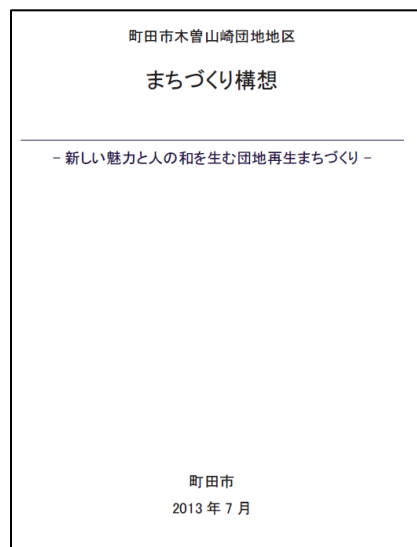
3

背景

- 「町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想」は2013年7月に策定され、策定から11年経過し、社会情勢は大きく変化していることから、見直しと更新を図る時期となっています。
- また、構想の主な目的は、5つの廃校となった学校跡地を活用し、まちづくりを推進することで、構想策定から数年後、学校跡地は山崎保育園、町田消防署、桜美林大学東京ひなたやまキャンパスとして再生しました。
- 多摩都市モノレール町田方面延伸路線が2022年に東京都に延伸ルートとして選定され、木曽山崎団地地区においてもモノレール延伸後の沿線となる地区となり、今後、モノレール延伸を視野に入れたまちづくりを進めていく必要があります。

目的

- 上記の背景から、まちの将来像である「木曽山崎団地地区まちづくり構想」を改定する必要があります。改定にあたっては、住民が主体的にまちづくりを検討することが必要と考え、今回、まちの将来像を考えていくまちづくりワークショップを実施します。

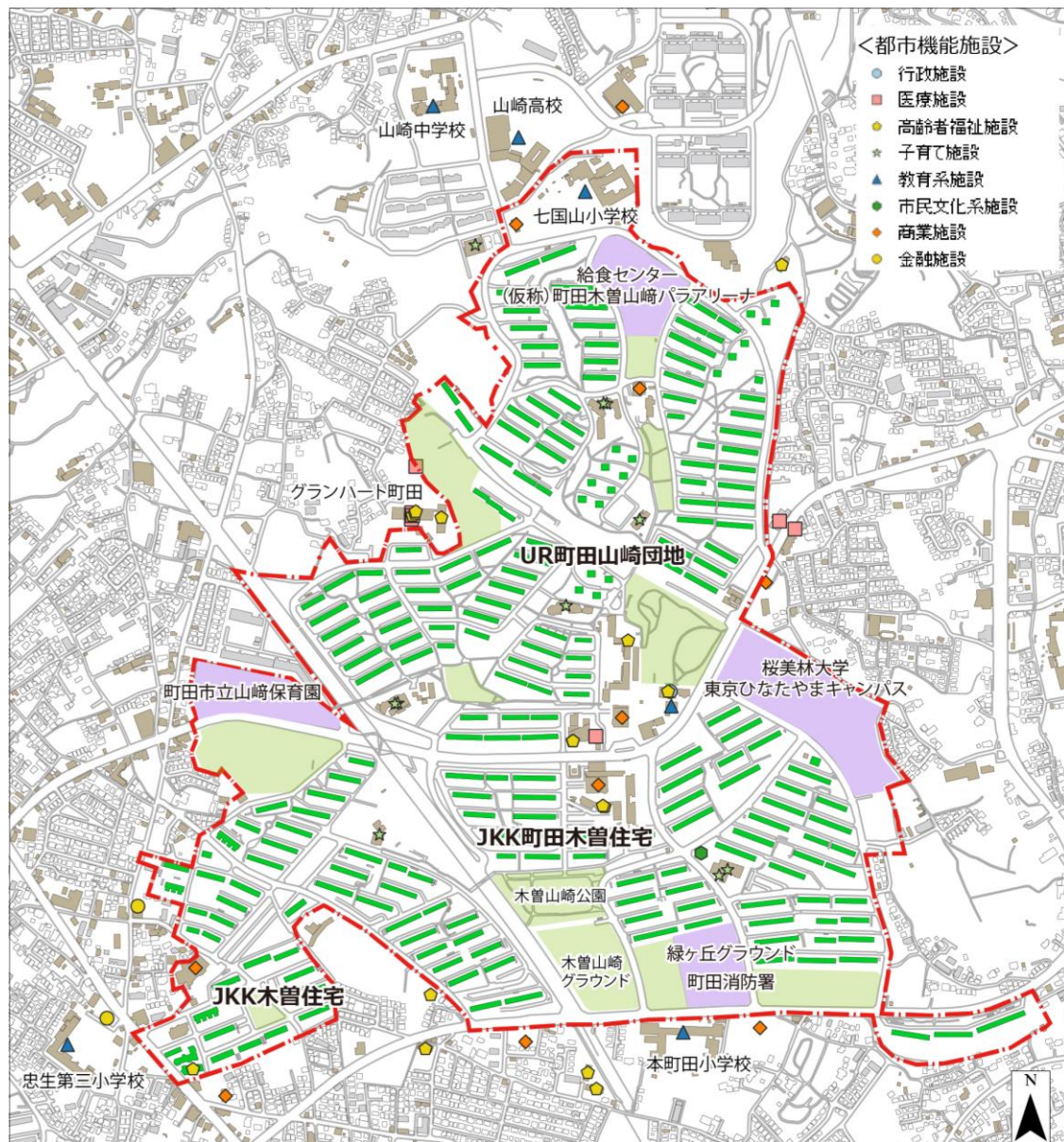


まちの将来像
「木曽山崎団地地区まちづくり構想」
(2013年7月)

木曽山崎団地地区の区域について

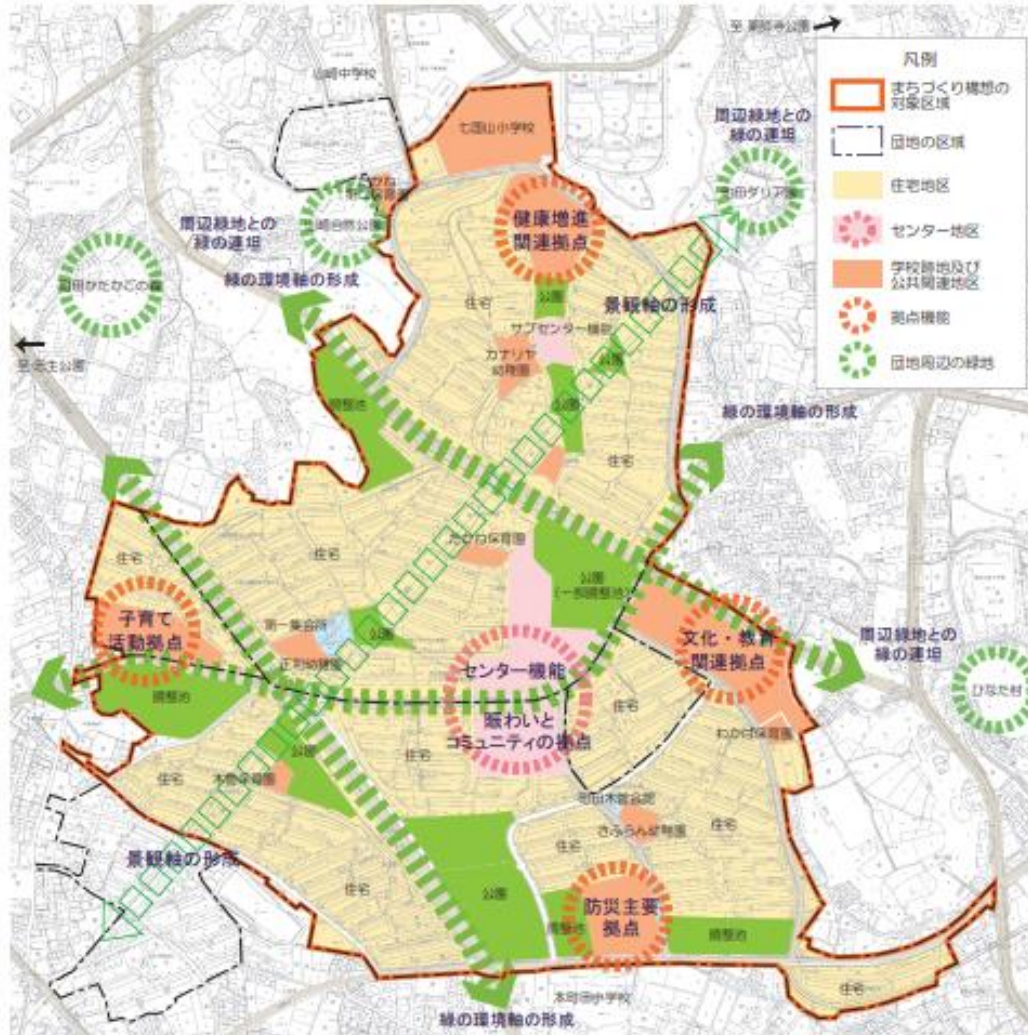
4

今回の町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想における対象範囲は以下の通りです。



木曽山崎団地地区まちづくり構想について

※詳しくは木曽山崎団地地区まちづくり構想をご覧ください。



- 「新しい魅力と人の和を生む団地再生まちづくり」をまちづくりの目標として掲げ、方向性として

「安心して暮らせるまちづくり」
「楽しく交流できるまちづくり」
「利便性の高いまちづくり」
「周辺から訪れたくなる魅力のあるまちづくり」
「環境を考えたまちづくり」

の5つを挙げています。



緑の環境軸

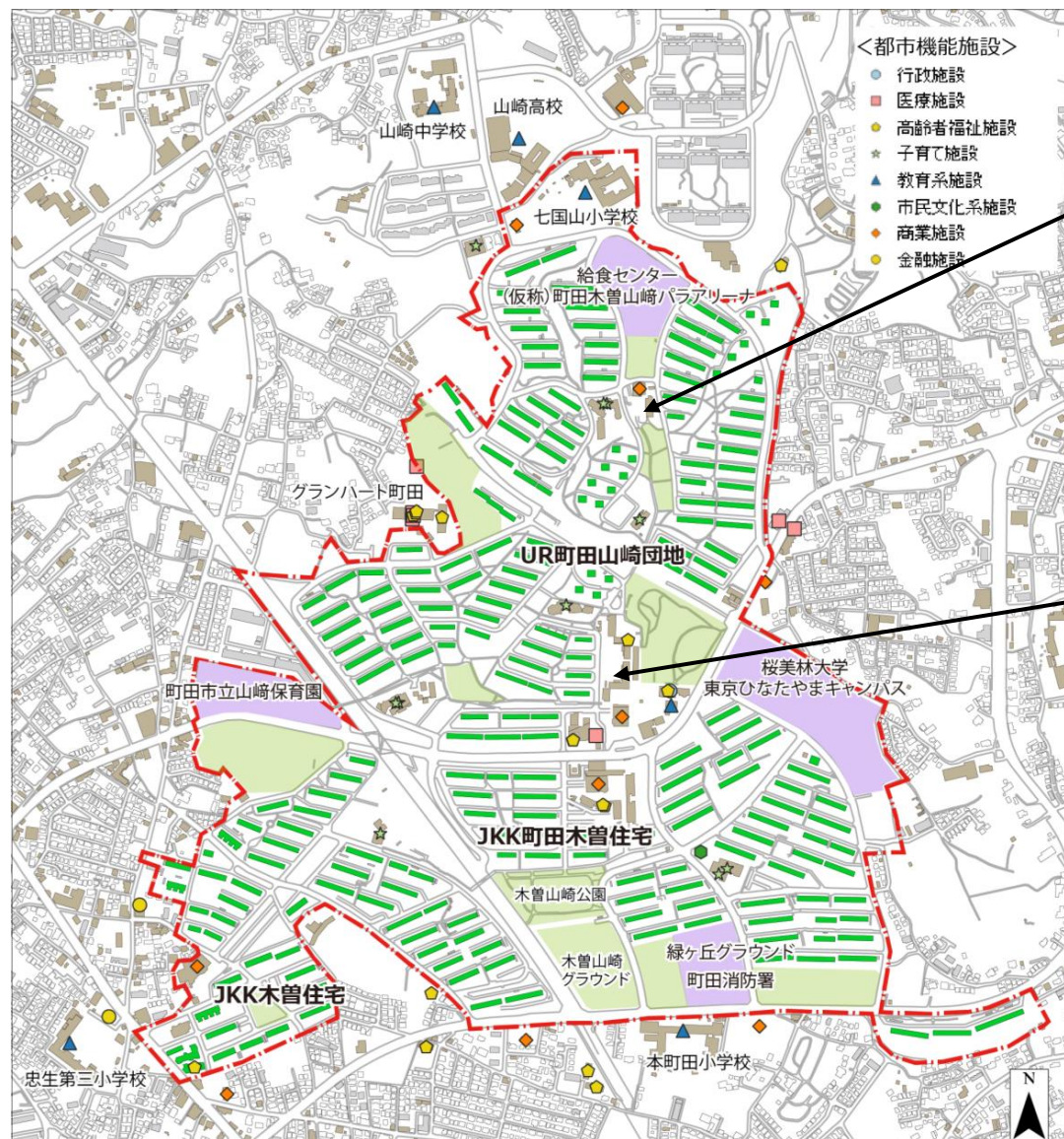
既存樹木の保全や緑化等により緑のシンボルロードの形成を図る。



景観軸

開放的で見晴らしの良い空間を活かし団地地区独自の景観の形成を図る。

木曽山崎団地地区のこれまでの取り組み



集会所の改修 (まちやまテラス)



山崎団地名店会に個性的な店の誘致

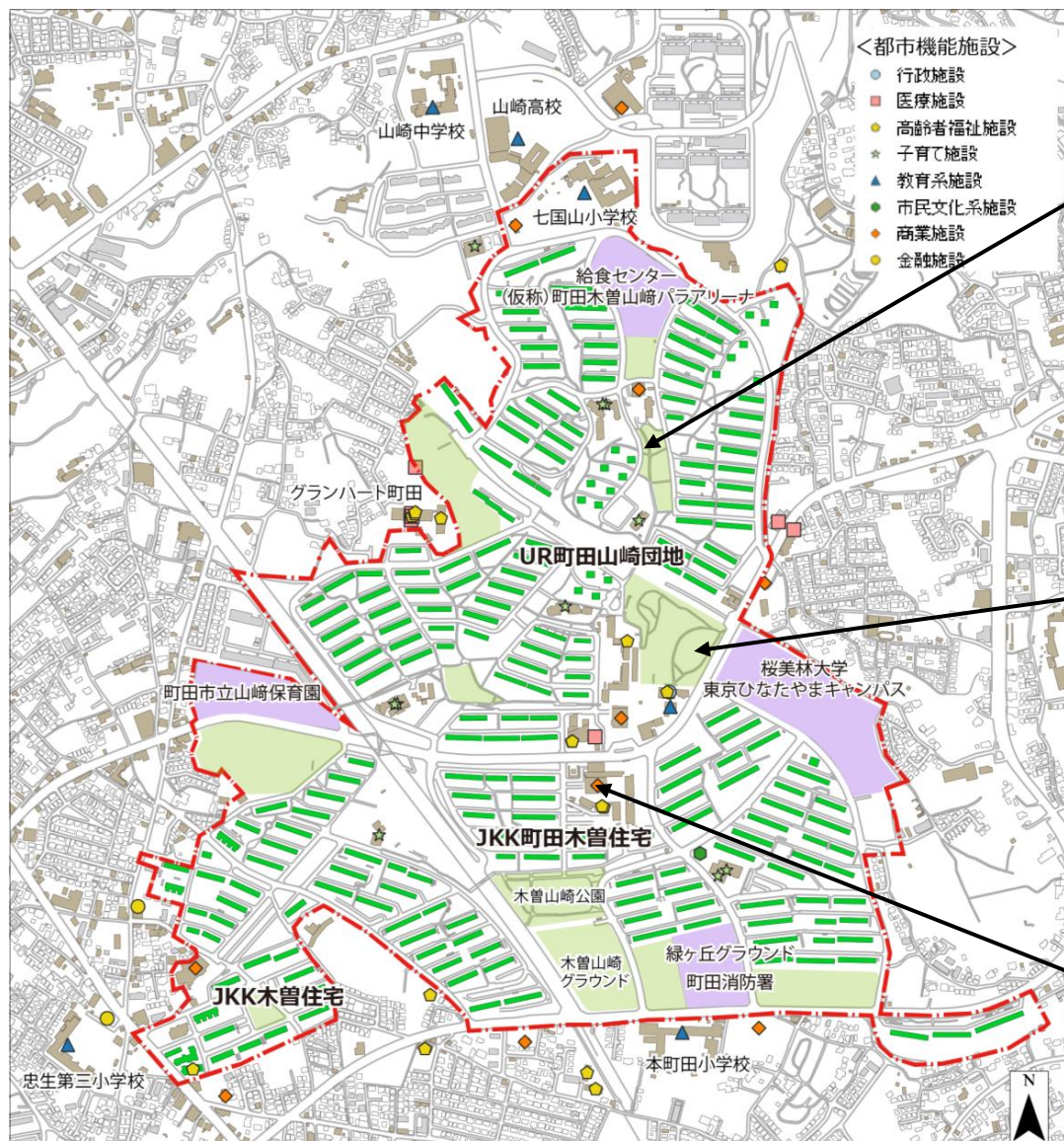


間取りのリノベーション



木曽山崎団地地区のこれまでの取り組み

団地キャラバンin町田山崎



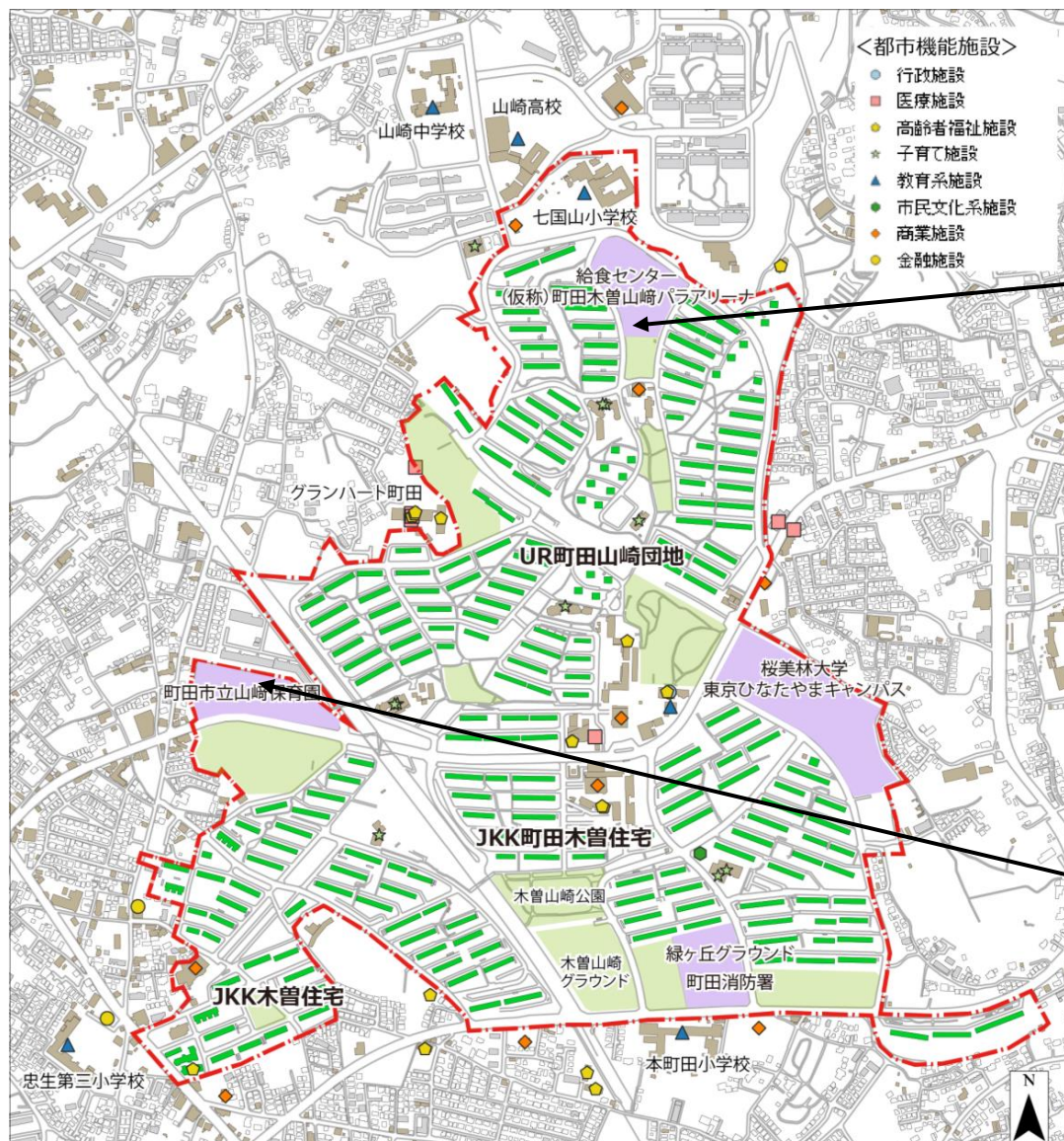
冒険遊び場



コミュニティ型生活サービス拠点「ネコサポ」



木曽山崎団地地区のこれまでの取組み



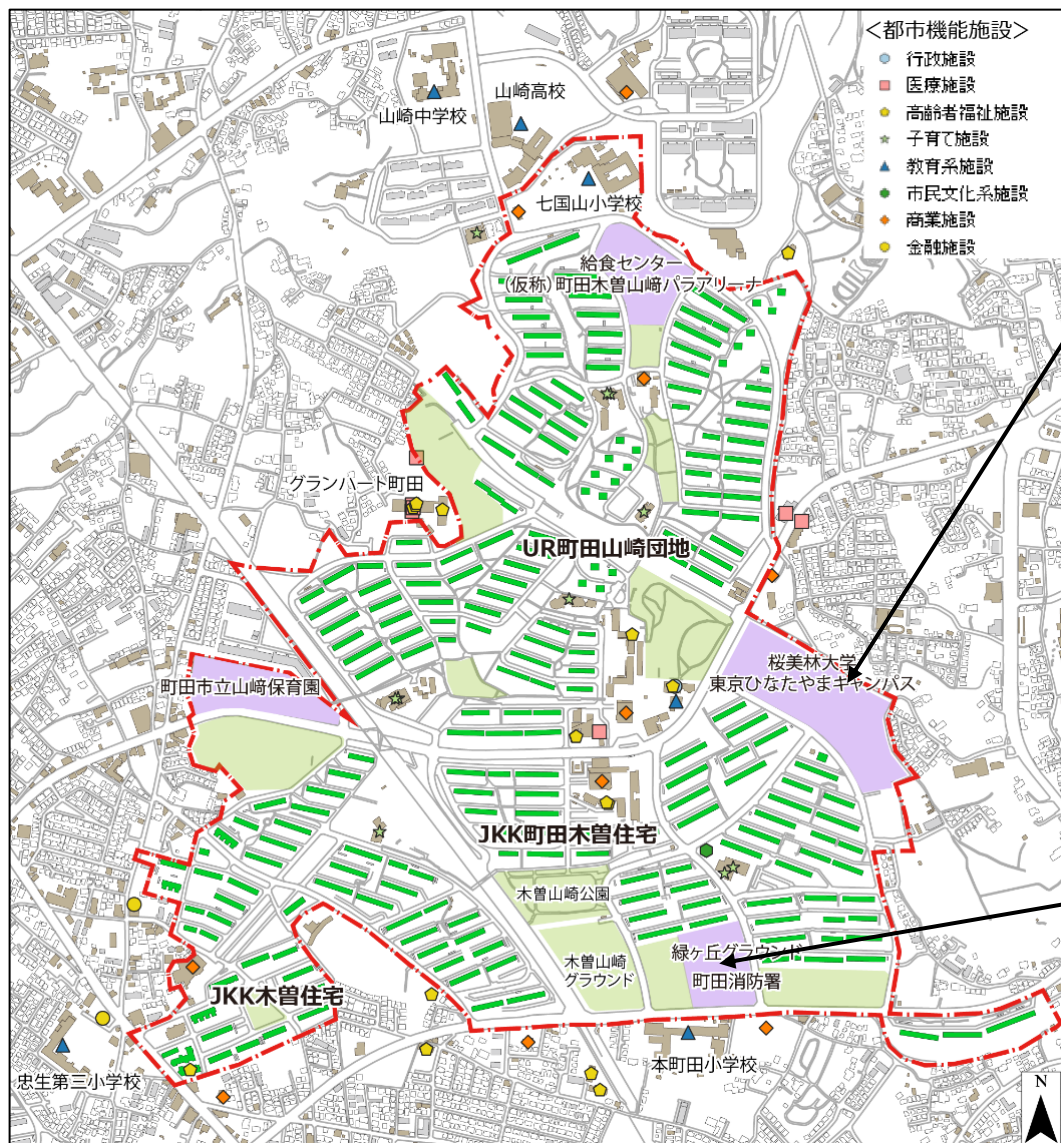
健康増進関連拠点（旧忠生第六小学校）
中学校給食センターの整備、パラアリーナ



子育て活動拠点（旧忠生第五小学校）
町田市立山崎保育園



木曽山崎団地地区のこれまでの取り組み



文化関連拠点・教育関連拠点
(旧本町田中学校・旧本町田西小学校)
桜美林大学東京ひなたやまキャンパス

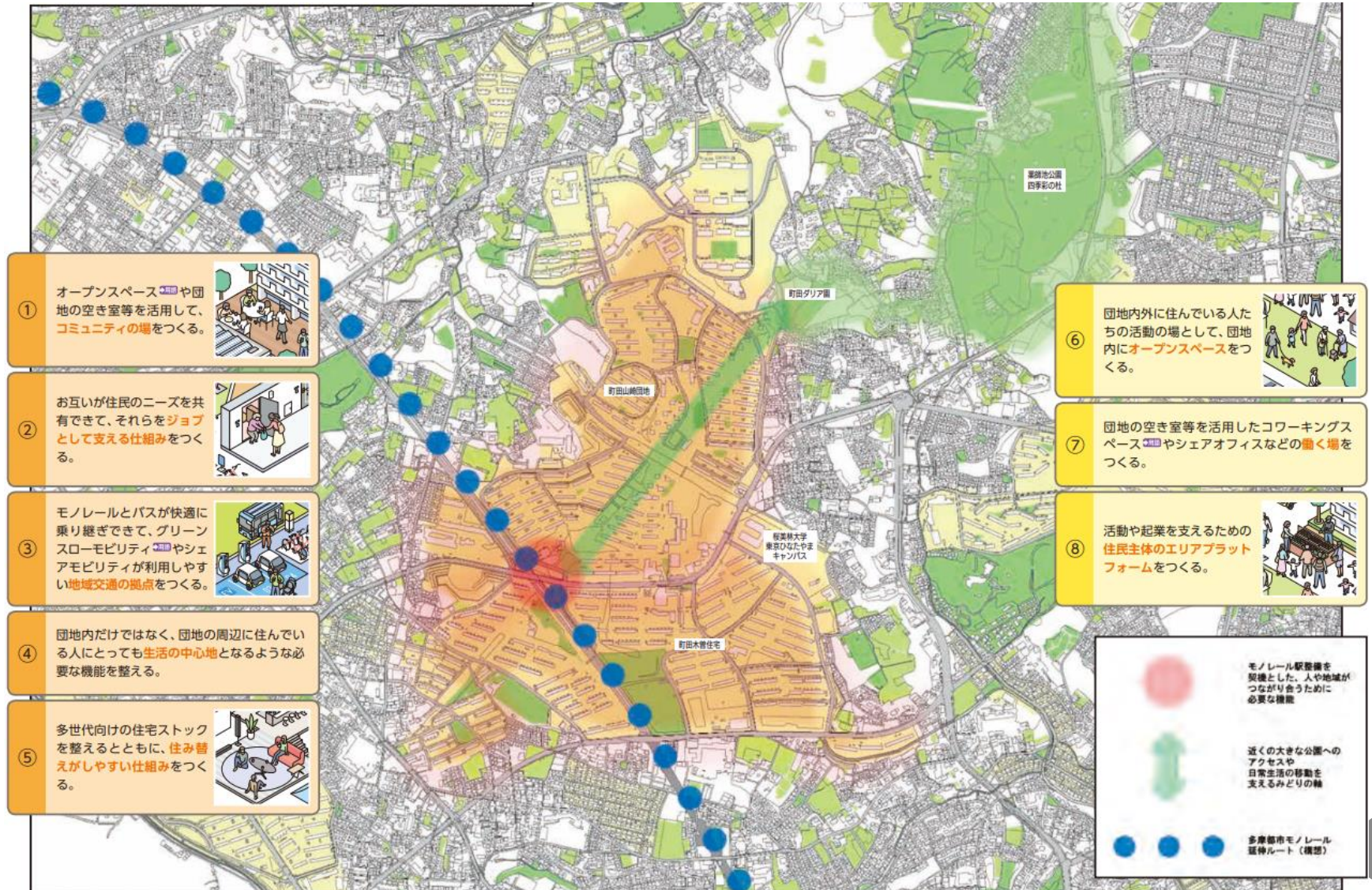


防災主要拠点 (旧緑ヶ丘小学校)
町田消防署・緑ヶ丘グラウンド



町田市都市づくりのマスタープラン

- 住宅地としての役割だけではない、これからは「ヒト・モノ・コト」が集まる地域の活動拠点へと変えていきます。



UR都市機構による

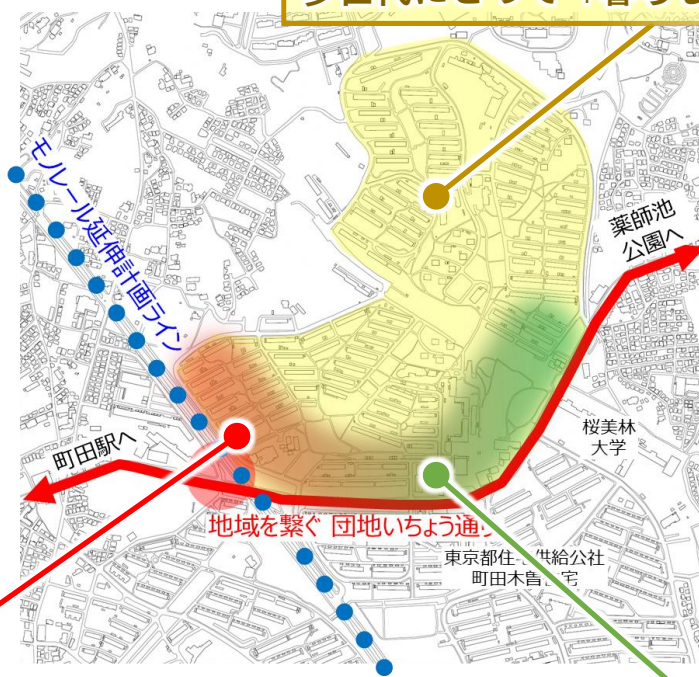
「町田山崎団地検討区域説明会」の開催

UR都市機構は、団地の将来的な在り方や将来イメージを共有するため、居住者や商業事業者の方と、令和3年度より8回の勉強会を開催いたしました。

勉強会でのご意見を踏まえ、UR都市機構は、団地や地域の価値向上に向けて、地域の特性に応じた新たな機能導入を調査・検討する「検討区域」を町田山崎団地に設定し、令和6年3月3日、及び3月6日に、「町田山崎団地 検討区域説明会」を開催しました。



モノレール延伸計画を契機とした、
「にぎわい」のエリア



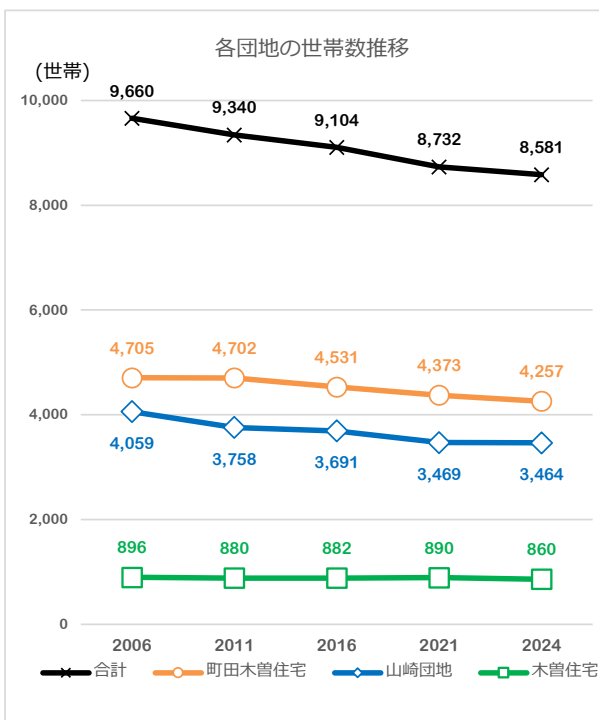
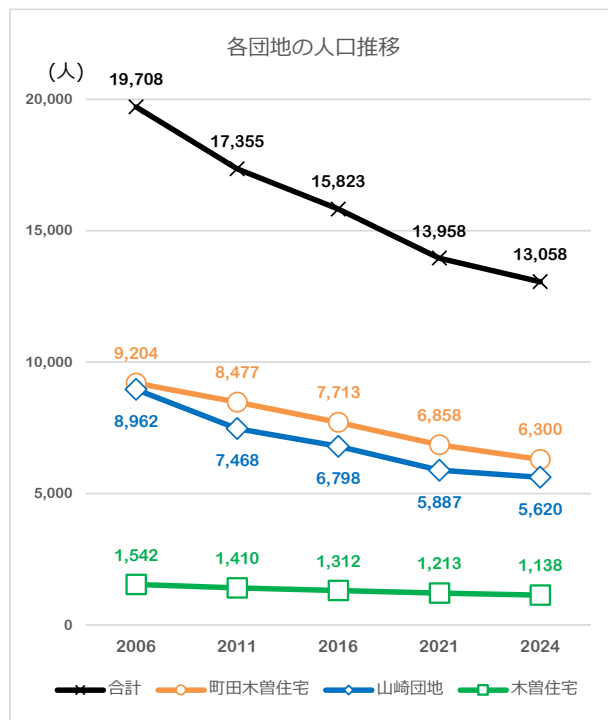
良好な住環境を形成する、
多世代にとって「暮らしやすい」エリア

団地の豊かな屋外環境を生かした、
多様な「活動・体験」と「健康・憩い」のエリア

団地の現状

■人口・世帯数

- 人口や世帯人員は共に減少しています。

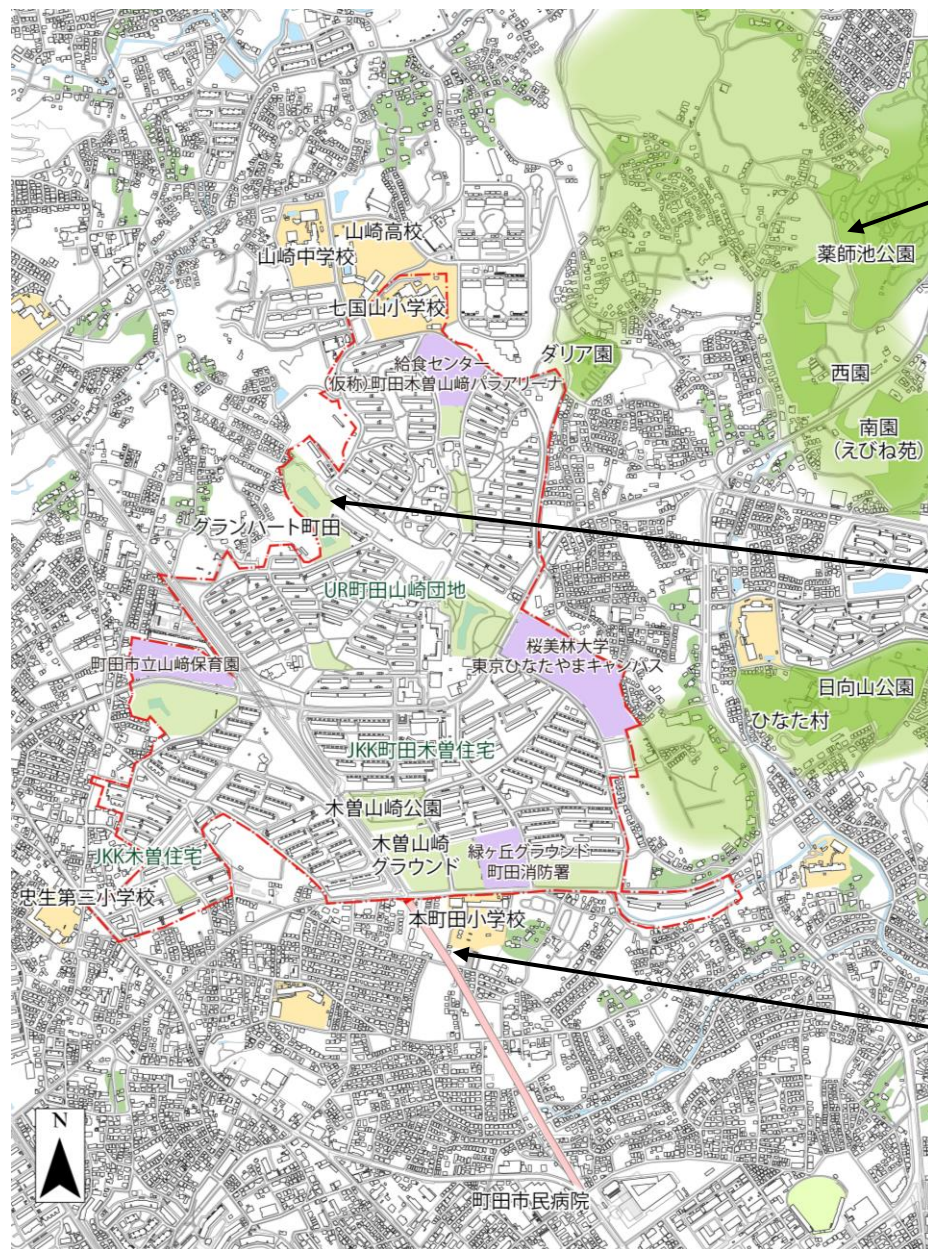


■団地の老朽化

- 各団地は、整備されてから60年程度の時間が経過し、建物の老朽化が進行しています。

団地名称	入居年度(住宅整備時期)	経過年数
UR山崎団地	1968～1969年	55～56年
JKK町田木曽住宅	1968～1969年	55～56年
JKK木曽住宅	1963～1964年	60～61年

周辺地域のまちづくり



■薬師池公園の整備



■医療複合施設グランハート町田



■町田都市計画道路3・36・3号線相原鶴間線（旭町）の開通



木曽山崎団地地区の課題

「町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想（2013年7月）」でまとめたまちづくりの課題を踏まえた今後の課題については、以下の通りです。

■安心 安全面の充実



▲見通しが悪くバリアフリー対策が必要な歩行者専用道
（町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想より）

- ・老朽化した建物の更新の促進
- ・住宅のバリアフリー化の促進
- ・地域の安心・安全の取組の推進
- ・子育て支援策の充実
- ・学校跡地の災害時避難広場としての機能の維持を行うため、中学校給食センターやパラアリーナを整備
- ・道路・歩道を安心して歩けるような対策
- ・治安の悪化防止のための空家等への対策

■多世代交流の充実



▲賑わいの低下が見られるセンター地区
（町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想より）

- ・居住者の若い世代、子どものいる世帯の減少が進んでおり、多世代が暮らすまちづくりが求められている。
- ・住宅のバリアフリー化の促進
- ・住民同士のコミュニケーションの活性化の取組の促進
- ・コミュニケーションが自然と促されるような仕掛けの導入の推進
- ・多くの住民の多様な活動に対応できるまちづくり
- ・ボランティアやNPO等の活動を支援する体制づくり

木曽山崎団地地区の課題

「町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想（2013年7月）」でまとめたまちづくりの課題を踏まえた今後の課題については、以下の通りです。

■利便性の向上



▲連節バス「ツインライナー」
（町田市ホームページより）

- ・利便性を高めることを目的とした団地センターの再生
- ・移動の利便性の向上の取組を推進

■環境への配慮



▲緑豊かな公園緑地（町田山崎団地）
（町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想より）

- ・緑豊かな環境を活かしたまちづくりの推進
- ・環境負荷の低減や自然エネルギーの導入の推進
- ・災害時でも生活を営むことができるようなエネルギーの確保

■まちの魅力の向上



▲若い世代の居住ニーズに対応した住宅
（町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想より）

- ・社会状況や団地の変化に合わせたまちの将来像の再検討
- ・特に子どもを含む若い世代が暮らすまちへ
- ・緑豊かな公園緑地の積極的な活用の推進

まちづくりワークショップの流れ

第1回
8月18日
(本日)

<テーマ>
まちの施設や機能のアイデア
◆ いまの木曽山崎団地地区を語ろう！
◆ 将来の木曽山崎団地地区をイメージしてみよう



第2回
12月
(予定)

<テーマ>
まちの施設や機能の配置アイデア
◆ 将来の木曽山崎団地地区のまちを作ってみよう



第3回
2025年6月
(予定)

<テーマ>
(仮) 新しいまちの活用アイデア
◆ (仮) 新しいまちの活用アイデアを考えよう



まちづくり構想改定へ

本日のワークショップについて

自己紹介
(5分)



グループワーク1 いまの木曽山崎団地地区を語ろう！
(35分)



グループワーク2 将来の木曽山崎団地地区をイメージしてみよう
(35分)



各班の発表
(各班5分)

※司会、発表は事務局スタッフが行います。

※適宜、休憩を取っていただいても結構です。

ワークショップについて

全般

- ・ ワークショップ中の撮影やSNSの発信はお控えください。
- ・ 事務局にて記録用の写真撮影や録音いたします。ご都合が悪い方はお申し出ください。

ワークショップ

- ・ 積極的に参加しましょう！
- ・ 自分の考えを率直に述べましょう！
- ・ 相手の意見に耳を傾けましょう！

注意事項

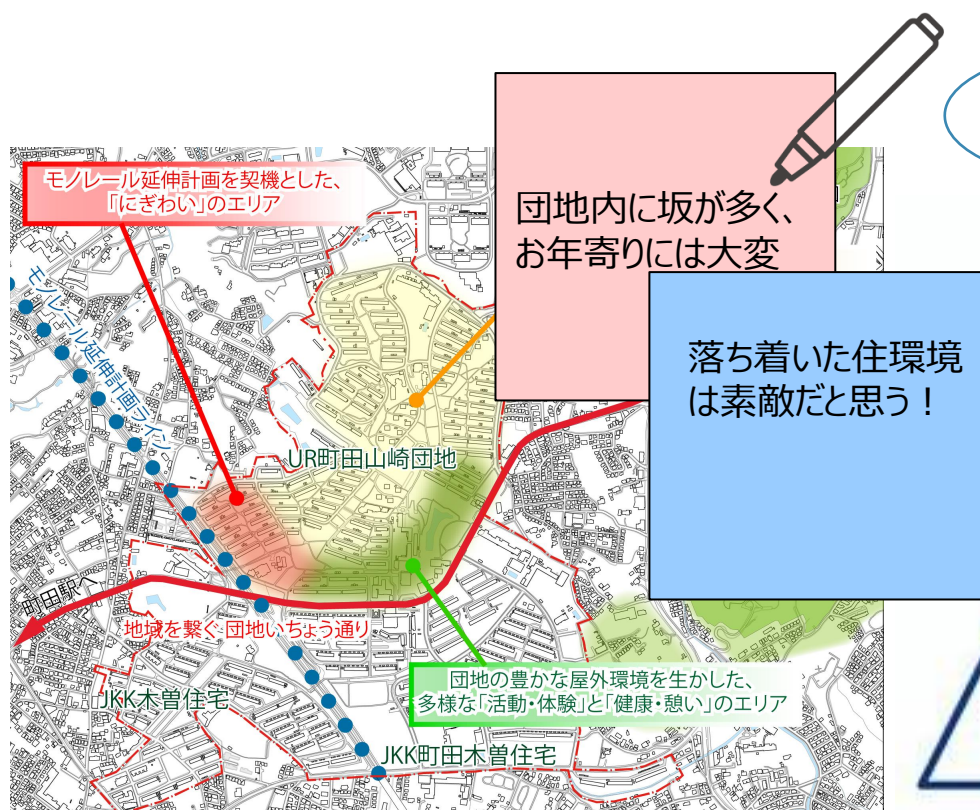
- ・ モノレール延伸や団地の建て替えについて議論する場ではなく、**まちの将来像**を議論する場です。

グループワークI

いまの木曽山崎団地地区を語ろう！

意見交換の方法

- ・ 木曽山崎団地地区の「良いところ・残したいところ/課題だと思うところ」についてふせんに意見を書き、発表します。
- ・ 「良いところ・残したいところ」は青付箋に「課題だと思うところ」は赤付箋に書きましょう。
- ・ 1枚のふせんには1つのことを、できるだけ具体的に書きましょう。
- ・ 特定の場所について意見がある場合は、地図に記録しましょう。



グループワーク2

将来の木曽山崎団地地区をイメージ
してみよう

意見交換の方法

- どんなまちだったら良いのか？そのために必要なモノ・コトについてふせんに意見を書き、発表します。
- 「どんなまちだったら住みたいまちなのか？/どんなまちだったら訪れたいまちなのか？/どんなまちだったら子どもにとっても良いまちなのか？」という3つのテーマで意見を書きましょう。
- 1枚のふせんには1つのことを、できるだけ具体的に書きましょう。

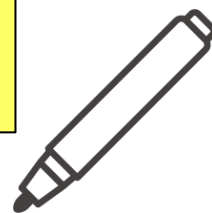
	どんなまちだったら住みたいまちなのか？	どんなまちだったら訪れたいまちなのか？	どんなまちだったら子どもにとっても良いまちなのか？
どんなまち			

【記入例】

こどもがたくさん集まるまちに



いつでも気軽に利用できる広場が必要



発表

次回まちづくりワークショップのご案内

第2回 2024年12月頃

テーマ (仮)

将来の木曽山崎団地地区のまちを作ってみよう

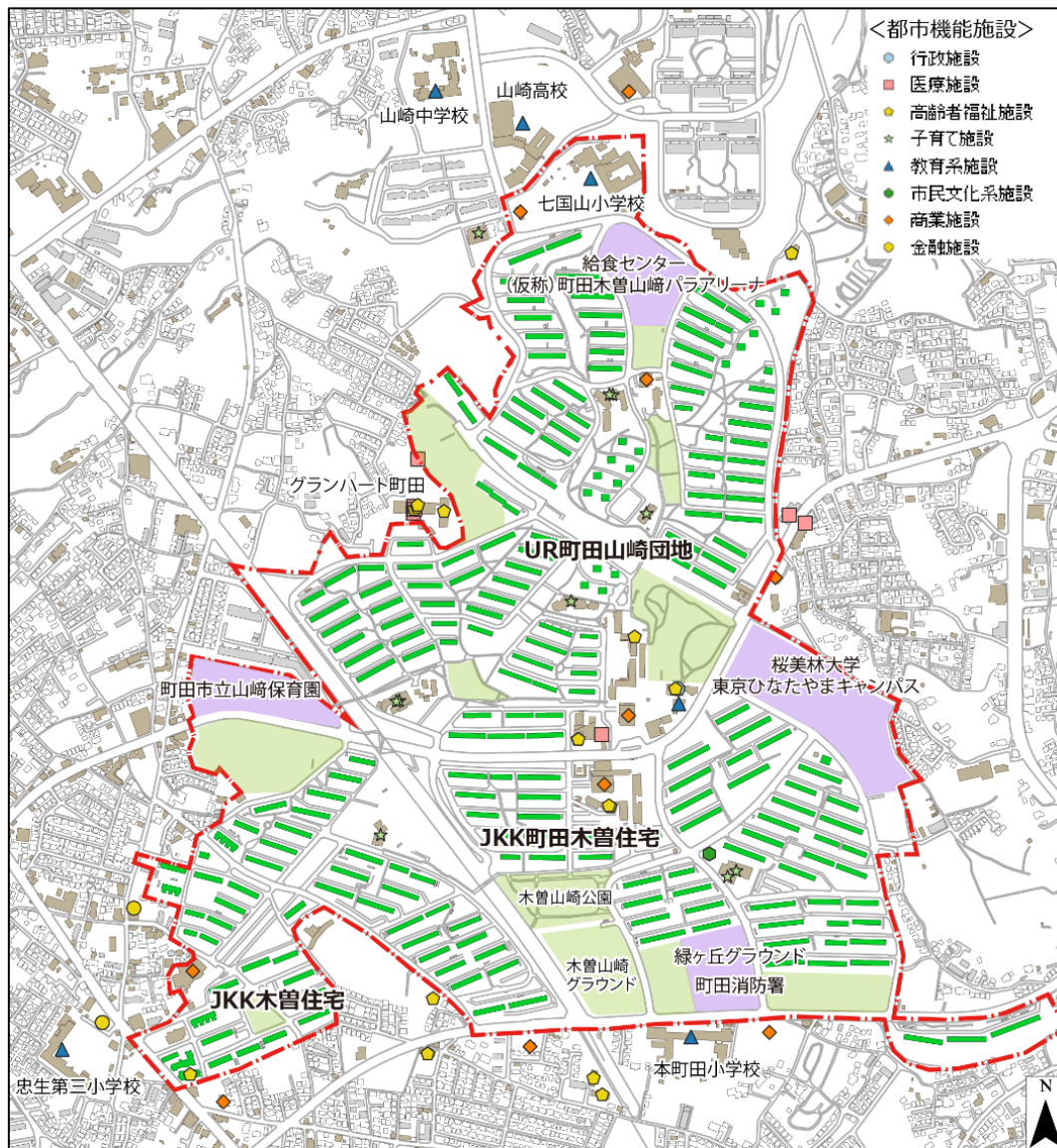
※詳細の案内は11月中旬ごろ、ご案内いたします。

○問い合わせ先

町田市都市づくり部都市政策課
モノレールまちづくり推進室
Tel : 042-724-4077

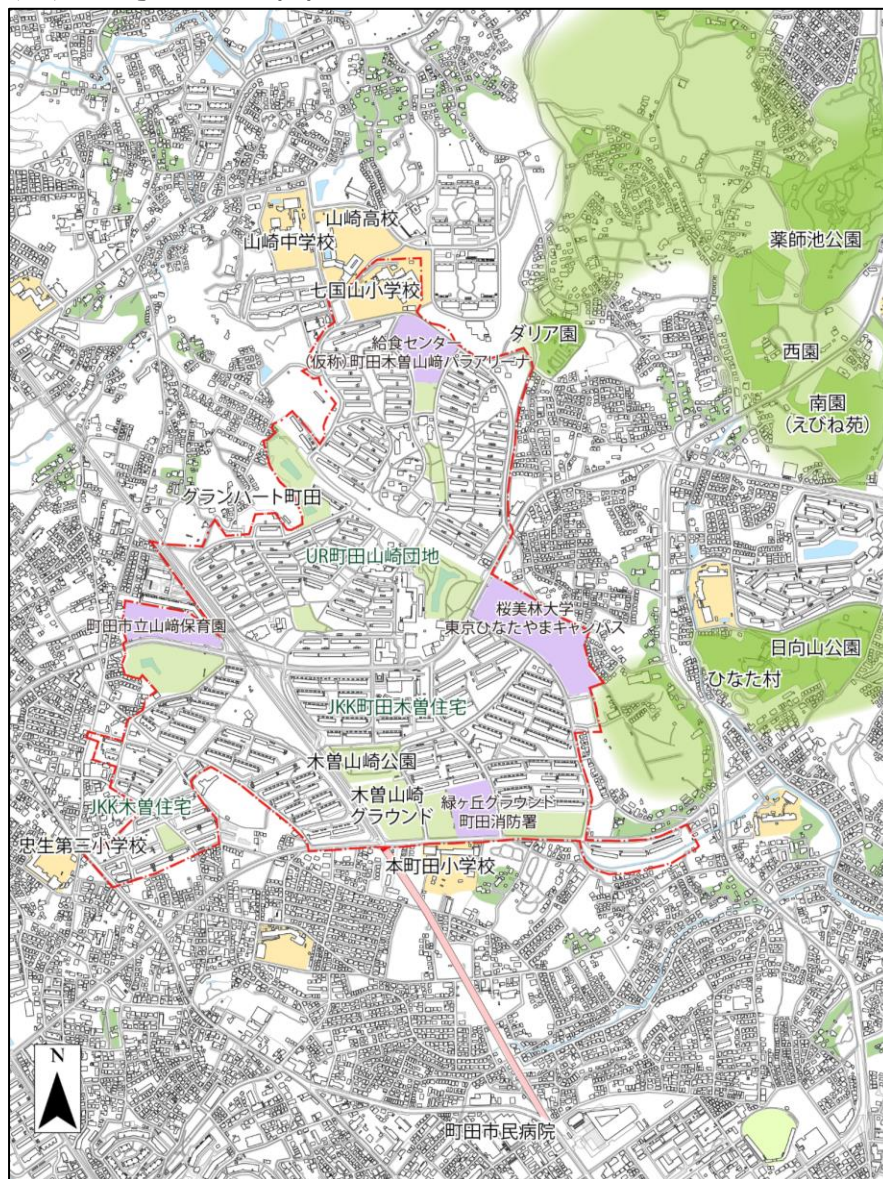
参考：使用する地図について

木曽山崎団地地区全域の地図



参考：使用する地図について

木曽山崎団地地区及びその周辺を示した地図



参考：使用する地図について

UR都市機構の勉強会で検討した将来イメージ

